

けいじばん
1月の掲示板より





とうりゅうもん こい たき
「登竜門—鯉の滝のぼり—」
しょうちくばい
「松竹梅」



しょうこうぐち けいじばん
昇降口の掲示板にあります。

「鯉の滝のぼり」は中国第二の大河である黄河
中流の竜門の急流を登った鯉は天まで昇って龍
になるという故事にちなんだものです。立身出世
(社会的に認められる地位につき、有名になること)の
たとえです。人生の岐路となるような大事な試験やコン
クールなどを、「登竜門」と呼ぶのはこのためです。今月
の掲示板装飾は、今年の干支の辰にちなみ、この「登
竜門」「鯉の滝のぼり」がテーマとなっています。

しょうちくばい すいせん
「松竹梅と水仙」

「松竹梅」、古くからおめでたい時に使われます。「松」は、風雪に耐えて冬の間も落葉せずに青々としており、樹齢も長いことから、縁起がよいとされています。「竹」は成長が早く、天に向かって真っ直ぐしなやかに伸びていく姿は、天とつながるように感じられるため、神が宿る依代と考えられました。松と竹は、お正月の飾りの「門松」になります。「梅」は、まだ寒い季節に他の花に先がけてよい香りで華やかに咲くことから、苦しい境遇でも努力して、人生の花を咲かせ、実を結ぶ、理想の生き方をイメージさせます。柏木小学校の校庭の鉄棒近くにも、小さな梅の木があり、例年2月の下旬に咲きます。その頃になりましたら探してみてください。

さらに、1月に咲く、水仙も加えました。水仙は、欧米では春の訪れを告げる「希望」の象徴、中国では幸運を呼ぶラッキーフラワーだそうです。